

来年度の協議会活動について

長崎五丁目地区まちづくり協議会では、以下の目的と内容で活動しています。

- 目的 長崎五丁目地区の防災性及び総合的な生活環境の向上と地域の活性化を目指して、豊島区と協働してまちづくりを推進する
- 活動内容 まちづくりに必要な学習、調査・研究、企画立案/まちづくり計画案の作成、区長及び関係機関への提言/広報及び普及・啓発活動/まちづくり計画の実現に向けた活動 等

来年度は、協議会活動や周辺のまちづくりの動向の周知や、長崎五丁目のお住まいの方が興味を持つことができる今後の協議会の活動テーマを探る機会として、防災イベント等の開催を予定しています。企画の詳細は、改めて皆さまにご案内いたします。

本協議会では、随時会員を募集しています。長崎五丁目にお住まいの方で、まちづくりにご興味のある方は、どなたでも参加できます。ご興味のある方は、事務局(下記問合せ先)までご連絡ください。



区からのお知らせ

建替えを促進するために 不燃化特区助成制度のメニューが追加されました！

能登半島地震でお亡くなりになられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

区では、地震被害軽減のため、右の通り、不燃化特区の助成を行っています。

また、令和5年4月より、「**戸建建替え促進助成(建築工事費助成)**」も新設。なお、**助成期間は令和7年度まで**です。

助成には事前の相談が必要です。詳しくは、次の連絡先にご連絡下さい。

(連絡先) 豊島区 都市整備部 地域まちづくり課
03-3981-1464

〈助成制度〉の概要

- 老朽建築物の「解体・整地費用」を助成
- 戸建建替え促進助成
 1. 設計費助成
 2. 建築工事費助成
- 固定資産税・都市計画税の減免
- 専門家(弁護士、税理士等)派遣
* それぞれに要件あり

NEW!

なお、木造住宅の耐震診断・耐震改修の助成については、次の連絡先にご連絡下さい。

(連絡先) 豊島区 都市整備部 建築課
03-3981-0590

発行 : 長崎五丁目地区まちづくり協議会
問合せ先 : 豊島区 都市整備部 地域まちづくり課
【電話】03-3981-3449(直通) 【FAX】03-3980-5135
【e-mail】A0050025@city.toshima.lg.jp
編集協力 : 株式会社 地域計画連合
【電話】03-5974-2021 【FAX】03-5974-5770
【e-mail】rpi-nagasaki@rpi-h.co.jp



長崎五丁目地区

まちづくり協議会だより

Vol. 7

令和6年3月発行

長崎五丁目地区は平成30年9月26日にまちづくり協議会を発足し、地元住民が中心となり、安全で住みよいまちを目指して活動しています。

令和5年度は、現在検討を進めている「安全な歩行空間の確保」を主なテーマとして、2回の協議会と先進事例の見学会を行いました。

令和5年度の協議会活動の報告

第13回協議会
(令和5年6月27日開催)
○事例見学会の見学先・プログラムの決定
○今後の協議会活動について

事例見学会
(令和5年10月28日開催)
○「安全な歩行空間の確保」等をテーマとした、先進事例視察(2事例)

第14回協議会
(令和6年2月20日開催)
○事例見学会の振り返り
○来年度の協議会活動について

開催結果は、2、3面をご覧ください！

活動報告 / 第13回協議会(令和5年6月27日開催)の様子

第13回協議会では、令和5年度の協議会の活動内容(事例見学会のプログラム)の確認と、今後の協議会活動の活性化に向けた意見交換を行いました。

【主な意見の紹介】



- 区内の学校関係の防災設備の整備状況を教えてほしい。
- 補助172号線の進捗状況は定期的に聞きたい。
- 東京都や警察はどこの道路がどう問題と考えているのか、具体的な情報がほしい。



- 電動キックボードが増えると自転車の通り道だけでは狭い。キックボードに合わせた安全な道路づくりも大切ではないか。
- 公園は普段使われなければ勿体ない。小さい保育園が使える公園ができるとよい。



- この会議の行き着く先がどこで、この問題を何回くらいの会議で進めるといふ目安がほしい。
- 会議の時間を見直して、効率的に議論を進めたい。

取組内容／事例見学会(令和5年10月28日開催)の様子

事例見学会では、「千駄木三・四・五丁目地区（文京区）」、「荒川五・六丁目地区（荒川区）」の2カ所を歩き、現在協議会で検討を進めている「安全な歩行空間の確保」を目的とした対策事例や、防災設備が配備された公園・広場の事例等を見学しました。当日の様子をご紹介します。

千駄木三・四・五丁目地区（文京区）

本地区は歩行者や自転車等の安全・快適な利用を優先する「くらしのみちゾーン」に位置づけられ、地域住民の安全を確保するための様々な対策が行われていました。



シンボルマークの「かめ」が通行する人々に安全を呼びかけています。



電線の地中化

部分的に車道の幅が狭くなっており、車のスピードを抑制する対策がされています。



狭さく

電線が地中化され、景観に配慮された快適な道路空間が確保されています。



交差点の明確化

〈地区の概要〉
文京区ホームページ 千駄木三・四・五丁目地区コミュニティ・ゾーン整備
URL: <https://www.city.bunkyo.lg.jp/bosai/doro/jigyo/community/yougo2.html>



広場等では災害時に活用できる防災設備を確認しました。



かまどベンチ

炊き出し用のかまどが内蔵されたかまどベンチ

目隠しパネル付きの災害時用のマンホールトイレ



マンホールトイレ

荒川五・六丁目地区（荒川区）

災害時に役に立つ様々な防災設備が配備された、公園・広場（防災スポット等）を見学しました。



防災スポット

防災井戸・マンホールトイレ↓



かまどベンチ↓

比較的小規模な広場に、かまどベンチや、マンホールトイレ、防災井戸などの防災設備が整備されています。

防災性の向上を図るために、幅員6mに拡幅事業中の道路を見学しました。

道路が広がる一方で、道路上に電柱が残っているなどの課題も確認しました。



道路上の残る電柱

〈地区の概要〉
荒川区ホームページ 荒川五・六丁目地区事業概要
URL: https://www.city.arakawa.tokyo.jp/documents/3168/arakawagoroku_2.pdf



取組内容／第14回協議会(令和6年2月20日開催)の様子

第14回協議会では、10月28日に開催した事例見学会の振り返りと、来年度の協議会活動について話し合いました。

当日挙がったご意見の一部をご紹介します。



【主な意見の紹介】

事例見学会の振り返り

- ・災害時は食事と排泄に困る。マンホールトイレやかまどベンチが地区内の公園にも整備できるとよい。
- ・視察先と長崎5丁目の道路幅の違い等も考慮し、電柱などの対策を論議する必要があると感じた。
- ・荒川5・6丁目を見て、道路だけではなく古い木造の建替えを促進する面的な取り組みも必要と感じた。
- ・歩行者の安全性以外にもスーパーへの搬出入など様々な視点で道路を考えていけるとよい。

来年度の協議会活動について

- ・ブロック塀や空き家など、住んでいる人が興味を持てる身近なテーマを協議会で取り上げていく必要がある。
- ・まちづくり協議会だよりには、生活に役立つ内容など、皆さんに興味を持ってもらえる内容も掲載したい。
- ・近隣の協議会や関係機関から話を聞き、5丁目の活動に活かしたい。一般の方の参加に繋げる企画も必要である。
- ・協議会の目的を再確認したほうがよい。会で取りまとめた提案を区に提言し、反映されるなら関心が高まるのでは。